

イスラエルの回復のために祈りましょう

イスラエルのヒスパニック系のユダヤ人

人口;70,000 人

1263 年、スペインのバルセロナにある露天市場。才気あふれるユダヤ人学者でラビのナハマニデス(モーシェ・ベン・ナハマン)が、パブロ・クリスティアニという、同じく才気煥発のユダヤ人クリスチャンと、群集の面前で宗教論を戦わせていた。クリスティアニは、カトリック教会から、イエスを信じるユダヤ人の立場を弁護するようにと遣わされたのである。キリスト教の言い伝えによると、ナハマニデスはこじつけの議論しかできず、クリスティアニの弁舌に閉口させられ、すごすごと引き下がったという。もちろん、ユダヤ人の伝説では反対のことが伝えられている。ナハマニデスはやがてスペインから離れ、イスラエルに住んだ。当時の聖地の一部はキリスト教の十字軍に占領されており、後はイスラム教徒によって支配されていた。スペインとポルトガルでの迫害が厳しくなると、ほかのセファルディ系ユダヤ人もスペインを去っていった。

1492 年、コロンブスが海を渡ってアメリカにたどり着いた——。彼と同行する人の中には、一等航海士を含め、その運命的な年に、フェルディナンド国王にスペインから追放されたユダヤ人がいたと言われている。スペインとポルトガルで発展してきたユダヤ人文化は、セファルディ系文化と呼ばれている。彼らは、「ラディノ語」という、スペインなまりのヘブライ語を話していた。スペインの宗教裁判の時代には、多くのユダヤ人が強制的に、あるいは自由意志でカトリック教へと改宗した。そのような人たちは、後に「コンベルソ」、あるいは「マラーノ」という呼び名で知られるようになった。彼らは、ひそかに自分たちのユダヤ教信仰を守り続けた。コンベルソはしばしば権力を持つ上流階級の人と結婚し、ある人たちは名医となり、そのほか政治家、王室の顧問となった人たちもいた。

改宗を拒み続けたユダヤ人には、国からの追放という運命が待っていた。スペインという土地に深く根差し、権力も財力も手に入れたスペインのユダヤ人にとって、これはどうしても避けたい事態であった。しかし、努力の甲斐もなく、スペインでのセファルディ系ユダヤ人の黄金時代はついに幕を下ろした。当時、フェルディナンド国王に仕えていたユダヤ人の財務大臣は、大金をもって王室の引き立てを受けよう

としたが失敗。スペインのユダヤ人は、自分の家、商売、家財をすべてあきらめるように強いられ、またも難民となってしまったのである。

■セファルディ系ユダヤ人の一部はポルトガルに逃げ込んだが、数年後には、そこからも追放された。ユダヤ人は北アフリカ、ヨーロッパ全土、中東に渡り、やがてスペインの探検家と共に、新世界に移り住んだのである。

■新世界において、セファルディ系ユダヤ人は、積極的に新しい共同体を立て上げた。彼らは時折、広大な土地の持ち主となり、ベネズエラではサトウキビ栽培の先駆けとなった。ブラジルではポルトガルの支配下で、宗教裁判の迫害が続いた。アルゼンチンでは、19世紀に東欧と西欧からのユダヤ人の移民が押し寄せたため、今のアルゼンチンのユダヤ人のほとんどは、セファルディ系(スペイン系)文化ではなく、アシュケナジ系(中欧と東欧系)の伝統を守っている。第一次世界大戦以降、再び東欧から大勢の難民がアルゼンチンにやって来たので、アルゼンチンは南米でユダヤ人の最も多い国となった(25万人)。南米に移住したほとんどのユダヤ人は、スペイン語(ブラジルはポルトガル語)を習得した。

■イスラエルの建国以来、スペイン語を話すユダヤ人の一団が、イスラエルに帰還している。南米の経済と政治情勢は常に不安定なので、どの国でも反ユダヤ主義が表面化しつつある。特に困難な時期に、多くのユダヤ人がイスラエルに帰還しており、1948年以降、アルゼンチンから祖国に戻った、約4万3千人のユダヤ人も、その中に含まれている。少数ながら、ブラジル、ウルグアイ、チリ、メキシコからも、ユダヤ人が帰還している。イスラエルの中でも特にテルアビブで、スペイン語を話す、ユダヤ人ビリーバーのコングリゲーションがいくつか設立されている。

祈りの課題

☆ 主からの恵みと謙遜(けんそん)が、思い上がりと優越感を克服することができるように。

☆ 彼らが、神に信頼することと、神が用意された、彼らの人生のための計画を知ることができるように。

☆ 自己満足という霊的要塞を築く、物質主義と人間的な自由主義に立ち向かって。

☆ 世代を超えて祖先から受け継いだ宗教裁判の悪影響からユダヤ人が癒やされるように。

☆ 不信仰という覆いが、彼らの目から取り除かれるように。

☆ ヒスパニック系(スペイン語系)ユダヤ人が、イエシュア(イエス)を受け入れた後、主のご計画と召しを成し遂げるように。

☆ 真の信徒との交わりが豊かになるように。交わりは、ヒスパニック系ユダヤ人が最も大切にしているものである。